

なかもつ寛議会議会報告

二〇一六年 新年号

2016.2月
NO.13

県民の
県民による
県民のための
政治

HIROSHI NAKAMATSU
Naha City Assembly Member

子育て・教育
福祉が原点

翁長知事初訪米同行
ワシントンDC
リンカーン像の前にて

申

年頭のごあいさつ



ハイサイ!

平成二十八年の新春を心よりお祝い申し上げます。今年一年が皆様に
とりまして幸多い年となりますよう念願いたします。

昨年の政治情勢は、県内一町三村で首長選挙、一市一町で議会議員選挙が
行われました。また、一昨年の県知事選挙、衆議院総選挙で示された
「普天間基地移設問題」が県政の大きな課題として、「翁長県知事の米国
ワシントンDCへの初訪米要請」や「辺野古基金の創設」「島ぐるみ会議の
市町村支部設置」を皮切りに名護市辺野古への新基地建設について、翁長県
知事による埋め立て承認取り消しの撤回を求め、「国土交通相が提起した
代執行訴訟」や「翁長県知事の埋め立て承認取り消しの効力を失わせた
国土交通相による執行停止を不服として、その決定の取り消しを県が求める
抗告訴訟」等、普天間基地をめぐる対応について県と国の考え方、手法の
違いが明るみになった年でありました。

私も翁長県知事の初訪米ワシントンDCに同行いたしました。米国の
上院、下院議員や政府関係者、シンクタンク、大学関係者と面談し、沖縄に
おける基地の過重負担の実情を訴え、沖縄の民意は辺野古新基地建設に
反対であるとの要請を行いました。

今後とも粘り強く訴え、「誇りある豊かさ」を求め、保守リベラルの
政治家として翁長県知事を支えて参りたいと固い決意を新たにしている
ところであります。

さて、私の昨年における議会活動は、城間市政初年度公約の進捗状況を
点検しつつ、市民目線を大切に市議会与党の中は々々主義を貫いて
参りました。更に、翁長市長、安慶田議長を県政に送り、城間新市政の
誕生等、激動の二年間を努めた議会運営委員長を退任し、「建設常任委員
会委員」「政策検討委員会委員」「新風会会派、総務会長」として与えられた
使命、職責に精一杯取り組んで参りました。

本年は、意気軒昂に心身を整え、市民、県民の負託に応えるべく、山積する
市政課題、市民福祉の向上に全力を挙げて取り組む決意でありますので、
今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し
上げます。

平成二十八年二月吉日

那覇市議会議員 なかもつ 寛